

日アマ第 07074 号
2025 年 6 月 12 日

JQ3JLC 實重隆宏 様

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
常務理事（総務担当） 7K1BIB 山内貴博

QSL カード転送遅延に関するご意見について

拝啓 深緑の候、實重様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、過日、当連盟会長森田耕司宛て、2025 年 5 月 24 日付け公開質問状とご署名 139 筆を拝受致しました。森田会長の指示により、常務理事（総務担当）である私よりご回答申し上げます。

1. QSL カード転送遅延に関する対策と現状

まず、QSL カードの転送に約 1 年を要している現状は、当連盟が現在抱える大きな問題のひとつと認識しており、遺憾に思っております。

2020 年頃までは、ビューローに到着したカードが会員に発送されるまでの処理期間はおよそ 4 ヶ月程度でしたが、2020 年以降、ビューローへの到着枚数が激増した一方で、新型コロナウイルス禍によりカード処理作業に制約が生じ処理量が低下しました。その結果、滞留枚数が約 500 万枚を超え、先入れ先出しで処理しているビューローにおける処理期間が約 1 年に延びてしまった次第です。

ビューローへの到着枚数が増え始めた時点で早期に対策を講じていれば、滞留枚数がこれほどまでに積み上がることはなかったと思われれます。しかし、前会長・JG1KTC 高尾義則氏の時代には特段の対策も取られなかったために、滞留枚数が約 500 万枚まで積み上がってしまいました。

2023 年 6 月の社員総会を機に新たに就任した森田会長は、さっそく、同年 7 月 29 日に開催された第 68 回理事会に、QSL カードの転送期間の短縮のために転送作業の一部を現在のビューロー委託先とは別の業者に委託するとの案を提出しました。しかし、年 3000 万円という大きな額の追加支出が必要となること、この時点ではビューローへの到着枚数の増加が続いており、追加投資を行っても転送期間の短縮が実現できるか不透明であったこと（追加投資によりビューローの処理枚数を増強できたとしても、到着枚数が増え続ければイタチごっこになってしまいます。）から、まずは会員に対しカード発行の抑制を呼びかけ、その効果をみてから、追加投資の是非についてあらためて検討することとなりました。

2023年11月の第69回理事会において、QSLカード転送遅延の解消のため、「発行枚数見直し」に協力を求める旨が了承され、その旨広報されていることはご承知のとおりです。その後、非会員宛での印刷をしない機能のTurbo HAMLOGへの追加、QSLカードの受け取りを希望しない局のリスト作成等の対策を行いました。

2025年5月24日の第80回理事会において、上記の対策の結果、2024年度のビューローへの到着枚数は180万枚(22.8%)減少し、前年並みに滞留数を115万枚減らすことができ、現在の滞留数はおよそ300万枚と推測されることが確認されました。一方で、ビューローから会員への総出荷枚数が減少していることから、会員の協力による到着数の削減だけでは正常化するための時間がかかるものと思われるため、ビューローとの問題点の確認と必要な対策をおこなう必要があることが確認されました。

対策のひとつとして、現ビューローとは別の業者から見積もりを取得したところ、1年目は2930万円(初期費用430万円を含む)、2年目以降は2500万円との試算が出ました。転送機能の増強策として仮にこの業者を起用するとした場合、年間のQSL費は新旧合わせて1億円を超えることとなります。当連盟は、QSLカードの転送だけではなく、様々な事業を行っており、年間予算4億円の当連盟が、ビューロー処理のためにこれだけの費用を掛けることが正当なのか、検討が必要との議論がありました。また、経費の圧縮と到着枚数の抑制のために、大量利用会員に対する加算金の検討が必要になるかも知れないとの意見がありました。これらの点については、6月の社員総会において、社員の意見を聴取する予定です。

2. 公開質問に対するご回答

以上を踏まえ、ご質問に対し回答致します。なお、下記回答は私の個人的な考えではなく、会長を含めた理事の了承を得ております。

- ・QSLカードの転送の約1年を要している現状を、どのように捉えていますか。

(回答) 上記のとおり、当連盟が現在抱える大きな問題のひとつと認識しており、遺憾に思っております。

- ・QSLカードの転送遅延を解決するために、ビューローの処理能力の向上・増強は検討されていますか。

(回答) 上記のとおり、ビューローの処理能力の向上・増強については、多額の費用をかけるべきかも含め、慎重に検討しております。

- ・2023.11.10 第69回理事会決議「QSLカード転送遅延の解消のため「発行枚数見直し」にご協力をお願い申し上げます」について、この決議(お願い)は一時的なものなのか、将来にわたって継続するものなのか、どのように貴連盟は捉えていますか。

(回答) QSLカードについては会員の間には様々なお考えがあり、それを踏まえたあくまで「お願い」です。お願いの趣旨をご理解頂き、将来にわたり継続してお願いをしたいと考えております。

・貴殿は、2012年の理事選挙立候補の際、QSLカード転送について「受益者負担の考え方を導入」と公約されていましたが、現在の貴殿のお考え及び貴連盟の方針はいかがですか。導入の予定や検討はありますか。

(回答) 受益者負担については、上記のとおり、第80回理事会においても議論になりました。会員各位のご意見も踏まえ、慎重に検討して参りたいと思います。

以上、ご回答申し上げます。本回答書は公開していただいて構いませんが、公開される場合は、改変せず全文を公開されますようお願い致します。

今後とも、当連盟の事業運営にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具